

平成31年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、大腸・肺・乳腺・前立腺・消化器A（肝臓・胆嚢・膵臓）・消化器B（胃・食道）といったがんの「発症部位別グループ」、また男女区別なく腎臓・膀胱といった希少部位にがんが発症した患者のための「混合グループ」や乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための「女性混合グループ」、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象とした「サタデーグループ」を編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た「柏サポートグループ」と大阪マラソンの寄附金による「大阪サポートグループ」を企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間178回開催し、延べ826人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。

(イ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族30人に対してアドバイスを行った。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①自律訓練法講座を月2回、計11回開催、延べ21人が参加、②ヨガ講座を月2回、計22回開催、延べ144人が参加、③アロマセラピー講座を月1回、計6回開催、延べ11人が参加、④コーラス講座（いきのちから合唱団）を月2回、計22回開催、延べ471人が参加、4種の講座合計61回開催、延べ647人のがん患者及び家族に対し提供した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) 講演会

がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした第17回ペイシエント・アクティブ・フォーラムを令和元年9月28日（土）によみうり大手町ホール（東京）にて開催した。208人の来場者に対し、「がんのない社会をめざして一減りつつある肝臓がん、ねらうは肺がん」をテーマに、「がんの原因に基づいた予防と治療」をテーマに [] に、
[] に、「がんのゲノム医療—何がわかる？どこまでわかる？」をテーマに [] にそれぞれ基調講演いただいた。その後、パネルディスカッションを行った。

(イ) 市民向けセミナー

①第9回がんを学ぶセミナーTOKYO：関東圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する

意識・知識の向上を目的にセミナーを令和元年7月20日(土)にがんサポートコミュニティー(東京)にて開催、がん患者及び家族22人とスタッフ3人の計25人が参加した。

を講師に招いて「がん患者の安心を紡ぐ二人主治医制」をテーマに講演いただいた。

(ウ) 教育研修事業

将来サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催で、外部講師3人を招き、がん診療連携拠点病院及び東京都認定がん診療病院に勤務する看護師、社会福祉士及び臨床心理士17人、スタッフ9人の計26人に対し令和2年1月11日(土)～12日(日)にエーザイ東京コミュニケーションオフィス(東京)で実施した。

(エ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに500円ずつ寄付するチャリティマラソンとして第9回大阪マラソンが令和元年12月1日(日)に開催された。そのチャリティー募金先の一つとして参加し、ランナー3万人2,000人を含む5万5,000人に対して、11月29日(金)～30日(土)にインテック大阪で開催されたEXPO2019会場において「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざして、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上を呼び掛け、9,014,316円の募金をいただいた。

(オ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために毎週金曜日開催した。23回開催し、31組が参加した。

(カ) がんサポ通信

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために年2回発行、1回あたり2,000部を配布した。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) 患者交流事業

①第3回とわの会：令和元年10月19日(土)に事務所においてサポート事業に参加していた患者が亡くなり、その遺族に対するプログラムとして第3回とわの会を企画、遺族7人、スタッフ6人の計13人が参加した。

②第18回クリスマスパーティー：令和元年12月16日(土)に築地テラス(東京)において第18回クリスマスパーティーを開催し患者及び家族11人、スタッフ7人の計18名が参加した。

③第18回春の研修旅行

がん患者とご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的に1泊2日の第18回春の研修旅行を令和元年6月8日(土)～9日(日)に三井物産人材開発センター(静岡)にて開催、外部講師3人を招き、がん患者及び家族12人とスタッフ11人の26人が参加した。

(イ) その他

第一三共と劇団四季が主催する「家族のきずなシアター」に後援し、がん患者及び家族142組447名を招待し劇団四季ミュージカル「キャッツ」を令和元年8月4日(日)にKAAT神奈川芸術劇場(神奈川)にて「パリのアメリカ人」を観劇した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 31,494 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業:患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを毎月1~2回運営した。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	11人	がん患者・家族	826人	15,103
	医療相談事業:患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて実施した。	原則として水曜日	事務所	2人	がん患者・家族	30人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するヨガの指導を実施した。	原則第1・3木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	144人	2,997
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導を実施した。	原則第3金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	11人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法の指導を実施した。	原則第1・2火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	21人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコーラスの指導を実施した。	原則第1・3月曜日	南大塚地域文化創造館/南大塚ホール	4人	がん患者・家族	471人	
普及啓発活動事業	市民啓発を目的とした講演会「ペイシエント・アクティブ・フォーラム」を開催した。	9月28日	よみうり大手町ホール	15人	がんに関心のある一般市民	208人	10,621
	市民啓発を目的とした「がんを学ぶセミナーTOKYO」を開催した。	7月20日	事務所	3人	関東圏のがん患者・家族、市民	22人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」を開催した。	1月11日~12日	エーザイ東京コミュニケーションオフィス	9人	関東圏のがん専門相談員	17人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソンEXPO」に出展した。	11月29日~30日	インテックス大阪	12人	市民	55,000人	

普及啓発活動事業	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催した。	原則として金曜日	事務所	4人	がん患者・家族	31人	
	広く市民に対する活動紹介として「がんサボ通信」を発行した。	8月1日 3月1日	事務所	10人	がん患者・家族、市民	4,000人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営した。	随時	事務所	3人	がん患者・家族、市民	920人	
	がん患者及び家族に対して関係図書を頒布した。	随時	事務所	2人	がん患者・家族	300人	
調査研究及び情報交換事業	患者交流事業：がん患者の遺族に対して「とわの会」を開催した。	10月19日	事務所	6人	遺族	7人	2,773
	患者交流事業：がん患者及び家族に対して「春の研修旅行」を開催した。	6月8日 ～9日	三井物産人材開発センター	11人	がん患者・家族	12人	
	患者交流事業：がん患者及び家族に対して「クリスマスパーティー」を開催した。	12月16日	築地テラス	7人	がん患者・家族	11人	
	その他：患者及び家族に対し家族の絆を深めることを目的とした「家族のきずなシアター」を開催した。	8月4日	KAAT 神奈川芸術劇場	5人	がん患者・家族	447人	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				

平成31年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
(A)	経常収益		
1	受取会費		9,581,000
	正会員受取会費	130,000	
	賛助会員受取会費	8,200,000	
	年間登録料	1,251,000	
2	受取寄附金		30,513,091
	受取寄附金	30,513,091	
3	受取助成金等		1,700,000
	受取協賛金	1,700,000	
4	事業収益		1,209,000
	心理社会的支援活動事業収益	96,000	
	技術的支援活動事業収益	696,000	
	普及啓発活動事業収益	162,000	
	調査研究及び情報交換事業収益	255,000	
5	その他の収益		370
	受取利息	370	
	経常収益計		43,003,461
(B)	経常費用		
1	事業費		15,338,999
	(1) 人件費		
	給料手当	9,873,724	
	特別手当	1,470,000	
	法定福利費	1,369,275	
	中退共保険料	453,000	
	サポーター費用	2,173,000	
	(2) その他経費		16,154,711
	催事費用	644,984	
	広報活動費	5,815,906	
	旅費交通費	3,156,634	
	通信費	384,958	
	運賃	5,027	
	消耗品費	413,944	
	事務用品費	340,576	
	新聞図書費	130,800	
	会議費	1,339	
	家賃	3,332,400	
	水道光熱費	198,496	
	保険料	6,484	
	会場使用料	724,720	
	支払手数料	923,024	
	減価償却費	75,419	
	事業費計		31,493,710
2	管理費		1,802,220
	(1) 人件費		
	給料手当	1,418,220	
	特別手当	270,000	
	福利厚生費	90,000	
	中退共保険料	24,000	
	(2) その他経費		1,451,855
	旅費交通費	106,580	
	交際費	2,050	
	通信費	2,385	
	租税公課	1,200	
	消耗品費	32,462	
	事務用品費	154,541	
	新聞図書費	1,310	
	諸会費	10,000	
	会議費	22,208	
	家賃	335,600	
	水道光熱費	22,055	
	保険料	20,490	
	リース料	719,200	
	支払手数料	3,032	
	減価償却費	18,742	
	管理費計		3,254,075
	経常費用計		34,747,785
	当期経常増減額 (A) - (B) ...①		8,255,676
(C)	経常外収益		
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	
	経常外収益計		0
(D)	経常外費用		
	固定資産売却損	0	
	災害損失	0	
	過年度損益修正損	0	
	経常外費用計		0
	当期経常外増減額 (C) - (D) ...②		0
	税引前当期正味財産増減額 ①+② ...③		8,255,676
	法人税、住民税及び事業税 ...④		
	前期繰越正味財産額 ...⑤		42,393,908
	次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		50,649,584

平成31年度 貸借対照表

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	49,364,291	49,657,541
前払金	293,250	
流動資産合計・・・①		49,657,541
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		530,031
工具器具備品	530,031	
(2) 無形固定資産		42,840
電話加入権	42,840	
(3) 投資その他の資産		562,800
敷金	562,800	
固定資産合計・・・②		1,135,671
【A】 資 産 合 計 ①+②		50,793,212
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
預り金	143,628	143,628
流動負債合計・・・③		143,628
2 固定負債		
固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④		143,628
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額	42,393,908	
当期正味財産増減額	8,255,676	
正 味 財 産 合 計		50,649,584
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		50,793,212

平成31年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

工具器具備品の減価償却は定額法によっています。

(3) 引当金の計上基準

該当なし

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動報告書に計上しています。

また計上額の算定方法は「3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	心理社会的 支援活動事業	技術的支援 活動事業	普及啓発 活動事業	調査研究及び 情報交換事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費							
年間登録料	675,540	112,590	225,180	112,590	1,125,900	125,100	1,251,000
正会員会費					0	130,000	130,000
賛助会員会費	4,428,000	738,000	1,476,000	738,000	7,380,000	820,000	8,200,000
2. 受取寄附金	16,477,070	2,746,178	5,492,356	2,746,178	27,461,782	3,051,309	30,513,091
3. 受取協賛金			1,700,000		1,700,000	0	1,700,000
4. 事業収益	96,000	696,000	162,000	255,000	1,209,000	0	1,209,000
5. その他の収益					0	370	370
経常収益計	21,676,610	4,292,768	9,055,536	3,851,768	38,876,682	4,126,779	43,003,461
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	5,924,236	987,372	1,974,744	987,372	9,873,724	1,418,220	11,291,944
特別手当	882,000	147,000	294,000	147,000	1,470,000	270,000	1,740,000
法定福利費	821,567	136,927	273,854	136,927	1,369,275	0	1,369,275
福利厚生費					0	90,000	90,000
中退共保険料	271,800	45,300	90,600	45,300	453,000	24,000	477,000
サポーター費用	1,475,500	627,500	70,000	0	2,173,000	0	2,173,000
人件費計	9,375,103	1,944,099	2,703,198	1,316,599	15,338,999	1,802,220	17,141,219
(2) その他経費							
催事費用			559,984	85,000	644,984	0	644,984
広報活動費用	1,803,379	290,842	3,430,843	290,842	5,815,906	0	5,815,906
旅費交通費	777,940	216,895	1,585,820	575,979	3,156,634	106,580	3,263,214
交際接待費					0	2,050	2,050
通信費	228,188	38,030	80,710	38,030	384,958	2,385	387,343
運賃			5,027		5,027	0	5,027
租税公課					0	1,200	1,200
消耗品費	206,364	80,200	93,463	33,917	413,944	32,462	446,406
事務用品費	204,348	34,057	68,114	34,057	340,576	154,541	495,117
図書費	78,480	13,080	26,160	13,080	130,800	1,310	132,110
会議費			1,339		1,339	22,208	23,547
諸会費					0	10,000	10,000
家賃	1,999,440	333,240	666,480	333,240	3,332,400	335,600	3,668,000
水道光熱費	119,100	19,849	39,698	19,849	198,496	22,055	220,551
リース料					0	719,200	719,200
会場使用料	152,620		572,100		724,720	0	724,720
支払手数料	113,229	18,871	772,053	18,871	923,024	3,032	926,056
保険料			660	5,824	6,484	20,490	26,974
減価償却費	45,252	7,542	15,083	7,542	75,419	18,742	94,161
その他経費計	5,728,340	1,052,606	7,917,534	1,456,231	16,154,711	1,451,855	17,606,566
経常費用計	15,103,443	2,996,705	10,620,732	2,772,830	31,493,710	3,254,075	34,747,785
当期経常増減額	6,573,167	1,296,063	-1,565,196	1,078,938	7,382,972	872,704	8,255,676

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は 0 円ですが、その 0 円は、下記のように用途が特定されています。
したがって用途が制約されていない正味財産は 0 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計	0	0	0	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	110,199	513,993		624,192	△94,161	530,031
無形固定資産						
電話加入権	42,840			42,840		42,840
投資その他の資産						
敷金	562,800			562,800		562,800
合計	715,839	513,993	0	1,229,832	△94,161	1,135,671

6. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
 - ・ 収入に関して、年間登録料、賛助会費及び寄付金については使用割合によって、事業費（90%）、管理費（10%）に按分した。さらに事業費について心理社会的支援活動事業（60%）、技術的支援活動事業（10%）、普及啓発活動事業（20%）、調査研究及び情報交換事業（10%）に按分した。なお、収入のうち正会員費については100%管理費とした。
 - ・ 支出に関して、事業部門に直接関係する経費はその事業部門に配賦し、共通については以下の基準で按分した。地代家賃及び水道光熱費については、建物面積比によって事業費（90%）、管理費（10%）に按分した。また事業内の人件費及び共通の経費については、使用割合によって心理社会的支援活動事業（60%）、技術的支援活動事業（10%）、普及啓発活動事業（20%）、調査研究及び情報交換事業（10%）に按分した。
- ・ その他の事業に係る資産の状況
該当なし

平成31年度 財産目録

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	213,486		
	みずほ銀行 普通預金 赤坂支店	11,330,457		
	みずほ銀行 普通預金 神谷町支店	7,392,195		
	三井住友銀行 普通預金 赤坂支店	12,133,372		
	三菱東京UFJ銀行 普通預金 虎ノ門支店	17,655,341		
	郵便振替口座	639,440	49,364,291	
	前払金			
	普及啓発事業前払金	293,250	293,250	
	流動資産合計・・・①			49,657,541
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	工具器具備品			
	空気清浄機	90,994		
	パソコン	439,037	530,031	
	(2) 無形固定資産			
	電話加入権			
	虎ノ門ガーデン事務所	42,840	42,840	
	(3) 投資その他の資産			
	敷金			
	虎ノ門ガーデン事務所	562,800	562,800	
	固定資産合計・・・②			1,135,671
	【A】資産合計 ①+②			50,793,212
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	預り金			
	源泉徴収税	73,222		
	社会保険料	70,406		
			143,628	
	流動負債合計・・・③			143,628
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④		0	0
	【B-1】負債合計 ③+④			143,628
	【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】			50,649,584

1

平成31年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	アツミ 効ユキ	[REDACTED]	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		渥美 隆之			年 月 日
2	○理事・監事	エンドウ キミサ		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		遠藤 公久			年 月 日
3	○理事・監事	ウエノ ヒサオ		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		上野 久男			年 月 日
4	○理事・監事	タカ ヨシテ		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		田中 義英			年 月 日
5	○理事・監事	オク ヒサオ		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		奥 寿夫			年 月 日
6	○理事・監事	ナカミ ユリコ	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日	
		中神 百合子		年 月 日	
7	○理事・監事	キムラ シユウ	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日	
		木村 周		年 月 日	
8	○理事・監事	オハラ ヒデモリ	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日	
		奥原 秀盛		年 月 日	
9	○理事・監事	ナカガワ ノブユキ	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日	
		中川 信幸		年 月 日	
10	理事・○監事	キノ ヨシオ	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日	
		清野 吉雄		年 月 日	

事業報告用

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
11	理事・ <u>監事</u>	エダ タキ		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		江田 巧			年 月 日
12	理事・ <u>監事</u>	マツムラ エイオ		平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		松村 行雄			年 月 日
13	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
14	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
15	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
16	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
17	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
18	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
19	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
20	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	渥 美 隆 之	
2	上 野 久 男	
3	田 中 義 英	
4	奥 寿 夫	
5	遠 藤 公 久	
6	中 神 百 合 子	
7	奥 原 秀 盛	
8	中 川 信 幸	
9	大 井 賢 一	
10	田 中 マ ュ ミ	
11	佐 藤 衣	
12	清 野 吉 雄	

